(参考18) 弾性の熱力学的性質

第一法則 dU = TdS - pdV から等温過程で得られる以下の関係は、弾性の熱力学的性質を表す。

$$p = -(\frac{\partial U}{\partial V})_T + T(\frac{\partial S}{\partial V})_T$$

 $-(\frac{\partial U}{\partial V})_T$ がエネルギー弾性, $T(\frac{\partial S}{\partial V})_T$ がエントロピー弾性と呼ばれる項である。

 $T(\frac{\partial S}{\partial V})_T \propto T$ であり、エントロピー弾性は温度に比例する係数をもつバネの作用をする。

理想気体は $(\frac{\partial U}{\partial V})_T = 0$ なので純エントロピー弾性である。

通常の金属の変形は主にエネルギー弾性による。

- (A) エントロピー弾性について,
- (1) 等温過程では,弾性変形で外部に行う仕事 $-w_{\rm r}=p{
 m d}V=-(rac{\partial U}{\partial V})_T{
 m d}V+T(rac{\partial S}{\partial V})_T{
 m d}V$ に必要なエネルギー移動のため,熱源との間に伝熱 $q_{\rm r}=T{
 m d}S=T(rac{\partial S}{\partial V})_T{
 m d}V$ が生じる。
- (2) 断熱過程では, $q_{\rm r}=T{
 m d}S={
 m d}U+p{
 m d}V=(rac{\partial U}{\partial T})_V{
 m d}T+[(rac{\partial U}{\partial V})_T+p]{
 m d}V=C_V{
 m d}T+T(rac{\partial S}{\partial V})_T{
 m d}V$ より,断熱下 $q_{\rm r}=0$ の可逆変化(S 一定)により,膨張して外に仕事を行う際の温度変化については,以下の関係が成り立ち,等温下の $(rac{\partial S}{\partial V})_T$ に比例する。 $(rac{\partial T}{\partial V})_S=-rac{1}{C_V}T(rac{\partial S}{\partial V})_T$
- $(3) \quad (\frac{\partial S}{\partial V})_T = (\frac{\partial p}{\partial T})_V = -(\frac{\partial p}{\partial V})_T (\frac{\partial V}{\partial T})_p = [-V(\frac{\partial p}{\partial V})_T][\frac{1}{V}(\frac{\partial V}{\partial T})_p] = \frac{\alpha}{\kappa_T} \, \mathcal{O}$ 関係があり、

さらに常に κ_T , $C_V > 0$ なので, 定圧昇温により熱膨張し $\alpha > 0$ となる一般の物質であれば,

$$(\frac{\partial S}{\partial V})_T > 0$$
および (2) から $(\frac{\partial T}{\partial V})_S < 0$ となる。

そこで,体積を圧縮 $\mathrm{d}V<0$ すると,等温過程では, $q_\mathrm{r}=T(\frac{\partial S}{\partial V})_T\mathrm{d}V<0$ となり,発熱する。 断熱過程では, $\mathrm{d}T=(\frac{\partial T}{\partial V})_S\mathrm{d}V>0$ となり,昇温する。

ゴム(参考3 参照)では、伸張 dL>0に伴い、 発熱 $q_{\rm r}=T(\frac{\partial S}{\partial L})_T {\rm d}L<0$ 、

昇温
$$\mathrm{d}T = (\frac{\partial T}{\partial L})_S \mathrm{d}L > 0$$
 する。

(B) 純エネルギー弾性 $T(\frac{\partial S}{\partial V})_T = 0$ について,

 $q_{\mathrm{r}}=T(rac{\partial S}{\partial V})_{T}\mathrm{d}V=0$, $\mathrm{d}T=(rac{\partial T}{\partial V})_{S}\mathrm{d}V=0$ なので,体積変化に伴う伝熱や温度変化は生じない。

すなわち,等温伝熱による体積変化は起こらず,また断熱変形で温度変化しない。

変形時の仕事に必要なエネルギーは全て内部エネルギーの増減による。